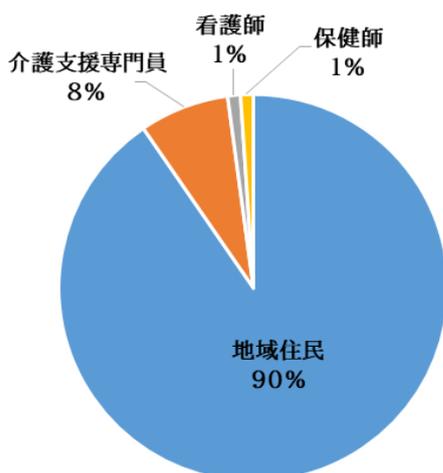


これから必要な「人生会議」とは何かを知る。 ～もしものときの医療と介護～ 【アンケート集計結果】



当日参加者数	94名
アンケート回答者数	87名
アンケート回答率	92.5%



(当日参加者内訳)

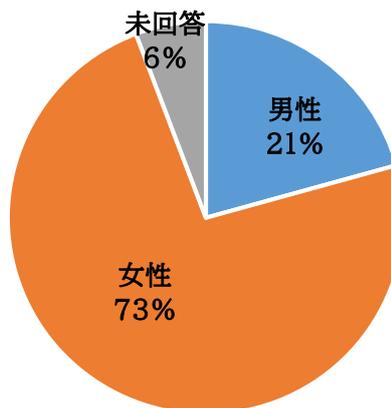
地域住民	85名
介護支援専門員	7名
看護師	1名
保健師	1名
合計	94名

- 【主催】 和歌山市医師会在宅医療サポートセンター 和歌山市第1在宅医療・介護連携推進センター
和歌山市第2在宅医療・介護連携推進センター 和歌山市第3在宅医療・介護連携推進センター
和歌山市第4在宅医療・介護連携推進センター 和歌山市第5在宅医療・介護連携推進センター
- 【後援】 和歌山市医師会
- 【協力】 和歌山市地域包括支援課

質問1 あなたのことをお聞かせください。

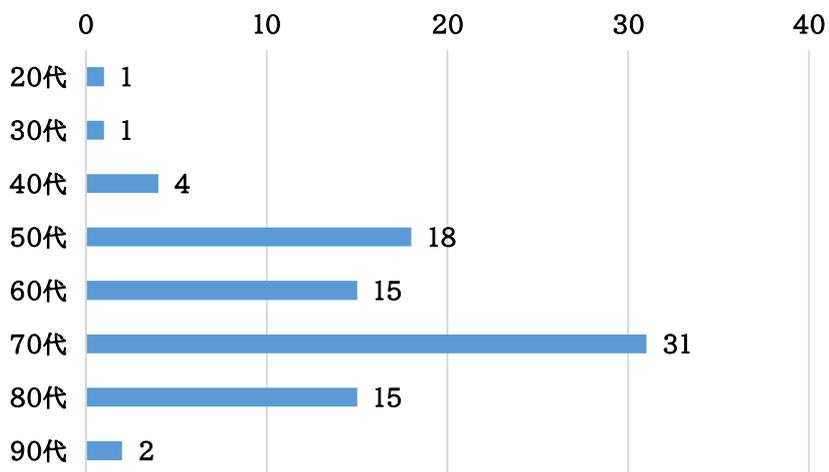
①

男性	18
女性	64
未回答	5



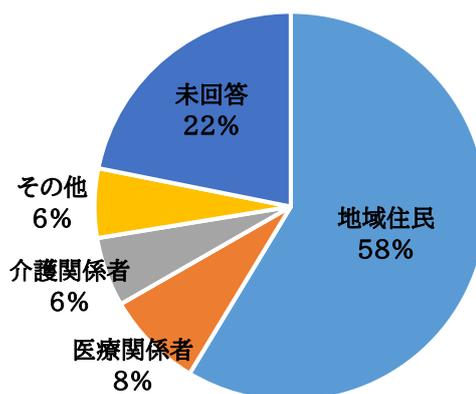
②

20代	1
30代	1
40代	4
50代	18
60代	15
70代	31
80代	15
90代	2



③

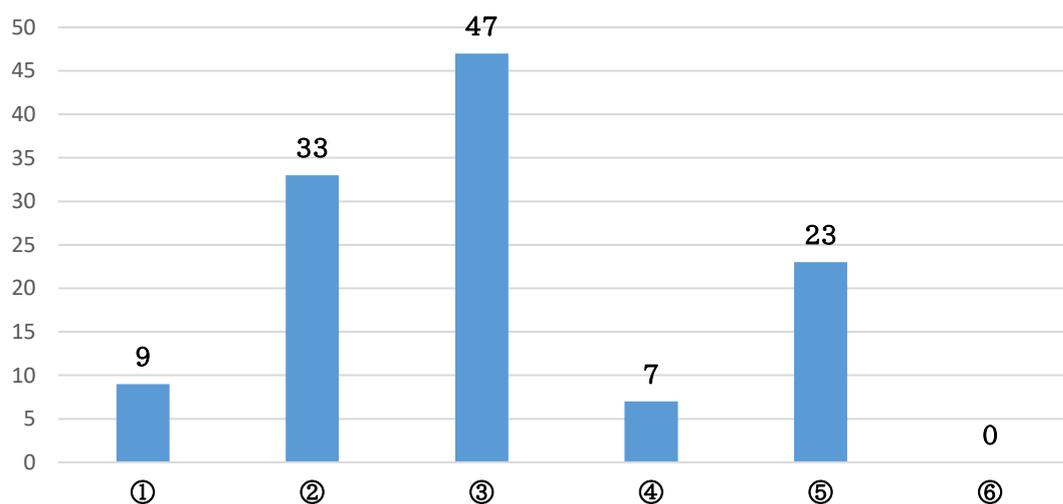
地域住民	51
医療関係者	7
介護関係者	5
その他	5
未回答	19



質問2 本日の市民公開講座に参加された動機は何ですか？

(複数回答)

① 人生会議(ACP)について、すでに話し合っているから	9
② 今後、人生会議(ACP)について話し合おうと思っているから	33
③ わたしの在り方ノート(エンディングノート)に興味があったから	47
④ 友人に誘われたから	7
⑤ その他	23
⑥ 未回答	0

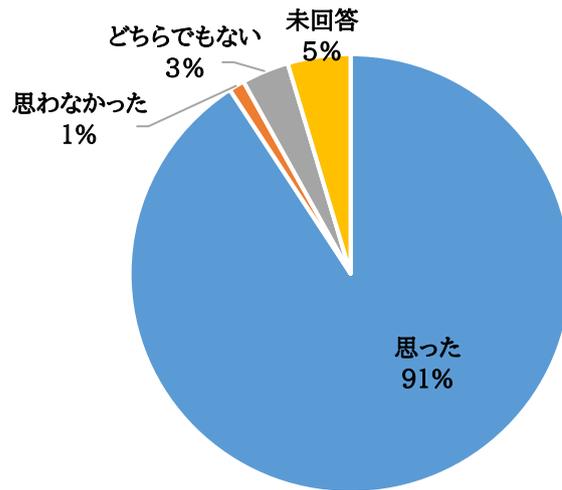


【その他】

- ・内容に興味をもったから。
- ・妹に聞いたから。良いと思い参加しました。
- ・これからの生活に不安を感じているから。
- ・家族に理解してほしいから。
- ・自分が該当世代になったから。
- ・「人生会議」とは何かを知りたかった。人生会議という言葉はあまり一般に知られていない。
- ・一人身なので、その準備のため。
- ・興味があったから。
- ・中央コミュセンでチラシを見た。池永先生を存じているので来ました。
- ・内容が大変興味深かったから。
- ・地域の情報を知るため。
- ・介護ヘルパーをしています。
- ・知識を身につけたい。
- ・地区の民生委員として、認識を深めたい。
- ・淀川キリスト教病院、講師先生のお話を拝聴したかったから。
- ・職務上、ACPをどう進めていくかの参考にしたい。

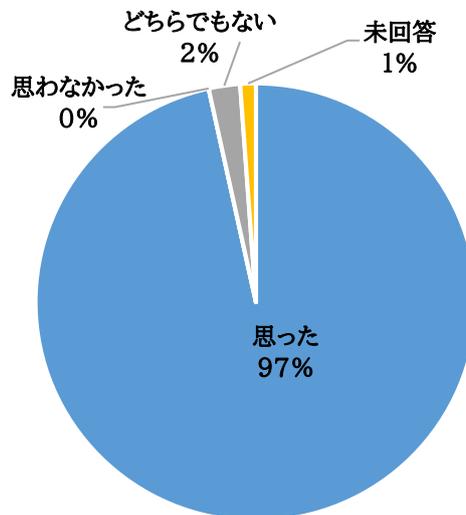
質問3 本日の講演を聞き、今後「人生会議(ACP)」について話し合ってみようと思いましたか？

思った	79
思わなかった	1
どちらでもない	3
未回答	4



質問4 本日配布しました「わたしの在り方ノート」について、今後使ってみようと思いましたか？

思った	84
思わなかった	0
どちらでもない	2
未回答	1



質問5 その他、ご自由にご記入ください。

- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・自分なりに作成したエンディングノートを毎年、再検討したりしながら子供たちに見せていますが、今回の講座で追記することが出来ました。私らしくある為に、子供達に迷惑をかけないように心掛けています。
- ・延命治療は「いらない」と言っています。長男に言っています。
- ・一人住まいをしています。家族の弟は遠方(外国)にいて、助け合うことが出来ず。全てを一人で解決せねばなりません。これから色々考えて準備する時だと思っています。
- ・大変分かりやすくお話を聞かせて頂きました。兄弟は近所に住んでいますが、私自身家族がいない一人暮らしです。避けて通りたい内容でも、一番真剣に考えていかなければいけない内容でした。これからの生き方を考えていきます。ありがとうございました。

- ・あまり考えていませんでしたが、出来る事はしておかなければと思う。
- ・家族に伝えておきたいことを少しずつ記録しています。今日のお話を参考にしたいと思います。
- ・自分についてももちろん、父・母等の希望を聞いておきたいと思いました。
- ・講演者がマスクを着けてのお話で、マスクの消音効果で途中話されている内容が聞きづらい場合があった。フェイスシールドでも着用して、音がはっきり聞き取れる様に考えて欲しかった。
- ・「人生会議」について分かりやすい講演内容で、良かったと思います。「人生会議」は浸透しつつありますが、なかなか実行しにくいと思っていましたが、アプローチの方法等まで触れてくれて非常に良かったと思います。
- ・とても良い機会を作ってくれて、ありがとうございました。
- ・今日はありがとうございました。今からでも人生の生き方を考えさせられました。今日の事をきっかけに準備していこうと思います。
- ・本日、大変参考になるお話をありがとうございました。今後も、認知症予防・介護予防等の講演をよろしくお願い致します。
- ・有意義な講演でした。分かりやすい内容でした。ありがとうございました。
- ・本日は大変分かりやすくご説明頂きありがとうございました。同居の父が終末期を迎え入院しており家族が決めなくてはいけないことがとてもたくさんあります。父の為にどう判断するか迷うことばかりですが、今日の講座のお話を聞き大きなヒントを頂きました。私の時、子供達にきちんと意思を伝えられるよう、さっそくエンディングノートの記入を始めたいと思います。ありがとうございました。
- ・事細かく説明して頂き、大変よく分かりました。
- ・死に方ではなく、最後まで生きる為には、(どう生きるか!!)本当にそう思いました。
- ・池永先生には大変参考になり感謝しています。一年に一回は開催してほしい。
- ・わたしの在り方ノートに関して、もっと詳細を書けるものも欲しい。
- ・ありがとうございました。本当に自分らしく良い人生を送りたいと思います。まずは、周りの人達に迷惑をかけないために、先に自分が色々知る事が大切であり、勉強していきたいと思います。深い内容の講義でありました。
- ・とても為になりました。在り方ノート、記入します。ありがとうございました。淀川キリスト教病院ホスピス緩和ケア病棟での土曜日の食事リクエストはとても素晴らしいことですね。和歌山ではどうなのでしょう？あれば嬉しいです。
- ・貴重なお話をありがとうございました。今後いかしていこうと思います。
- ・自分の最期、両親の最期について考える事はとても怖く、遠ざけていましたが、本日の講座を聞いて、家族で話し合ってみようと思いました。第一歩になればと思います。
- ・父や母を、父母の自宅で訪問医師、看護師の方にお世話になり、看取る事が出来ました。最高の死に方だったと思います。さて、次は自分の番！
- ・ありがとうございました。年を取り今後の参考になりました。エンディングノートを記入していきたいと思います。
- ・延命治療はしたくないです。
- ・現在、老々介護(妻・要介護3)をしています。認知症で苦勞しています。
- ・色々な話を聞けた事にありがとうございました。これからの人生の為に役立ちました。
- ・役に立ちました。
- ・分かりやすいお話で、参加してよく分かったので実践したいです。ありがとうございました。
- ・先生のお話を聞いて、よく分かった。
- ・この講演をきっかけに、特約の整理など進めたいと思います。
- ・ありがとうございました。
- ・今後、どう生きていくか考える良い機会となりました。
- ・子どもが困らないように決めて、記入したいと思いました。ありがとうございました。
- ・もしもの時の準備の為に、自分の意思を家族と共有していくことで、意思決定出来なくなった時に、自分や家族が困らずに最期の時を過ごせる。その必要性について考える事が出来ました。「自分の人生の最期を自分で決める」自身もそうありたいと思います。

- ・大切な事を整理して話して下さり、分かりやすくありがとうございました。これからの参考にさせていただきます。
- ・すでにエンディングノートを書いてますが、書き換え等もしていきます。自分の人生だから、最後まで自分らしく生きていこうと再度確認しました。
- ・日頃、後回しにしていること、避けていること、少し考えたり付き合ったりしてみようという思いになりました。辛いことを語られるのに、池永先生の深く長い経験に根差した、人としてあたたかい包容力を感じるお話でした。
- ・わたしの在り方ノートの紙が良過ぎる。書き直しを勧めているが、一度書いたら消しても型に残ってしまう。
- ・良い話でした。帰ったら夫と話し合いをしたいと思います。
- ・講師のお話が、とても分かりやすかった。今回は良い機会に恵まれた。感謝です！
- ・具体的に聞かせて頂き、今一度考えなくてはと思いました。大変分かりやすく、子供達と話し合いたいと思います。
- ・和歌山の看護師とケアマネさんへ。医師の紹介の訪問看護師、良し悪しありすぎて困ります。訪問看護も、自分達の意にそぐわない私の味方のケアマネを交替させようとするし、陰湿です。母を任せられず、全てシャッフルしました。今は訪問看護を利用していません。病院でリハビリをしても院内の床は平坦で歩けるのですが、もっと自宅を想定して欲しい。ケアも自宅だけではなく、入院・特養・老健とかいろんなコースの提案して欲しいです。患者と家族は強くないと、在宅って難しいです。
- ・断捨離、終活、TV等でよく聞き、まだまだ若いつもりが、物忘れ。周辺の老人ホーム行きがなくなり、これから考えないと思っていましたので、丁度良い機会と思い参加しました。
- ・池永先生のお話は、医学モデルを中心とした話でなく、生活モデルを大切に、一人の人間として尊重されるべき内容について、分かりやすくご説明頂き、大変有意義でした。「自分の代わりに自分のことを決めてくれる人」について、一人だけでなく、複数存在して自分のことを皆で話し合ってもらえる機会になれば良いと思いました。(一人だけだと、その人の負担に繋がるのでは・・と思いました。)
- ・日々忙しく、医療や介護の情報も全く知らなかったので、講演はもちろん、資料のパンフレットも分かりやすく、参考になりました。わたしの在り方ノートは家族の人数分、必要だと思いました。
- ・延命治療は望まない。主治医を任せる。
- ・良い企画をありがとうございました。添付資料もありがとうございます。改めて考え直してみます。在り方ノート、鉛筆で記入するって良いことですね。
- ・今、実際に最期をどうしていくか、日々希望が変わる患者を看ています。今日の講義で、とてもヒントになる具体的な関わり方が見えたように思います。医・看・介等、専門職らにACPをしっかりと知ってもらう活動も必要だと感じました。自分自身、家族でも話をしたいと思います。